

第9回定例スキルアップ講習会

主 催：仙台市宅地安全協議会

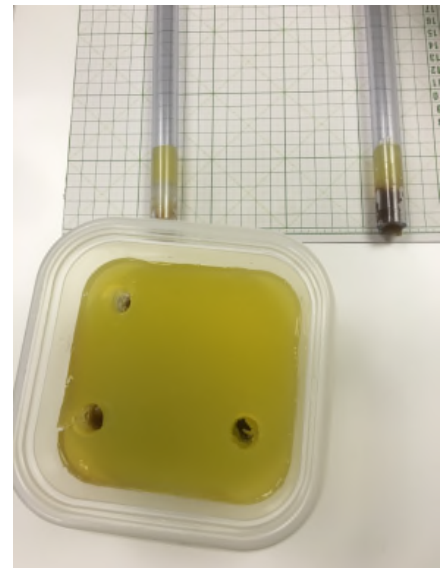
開催日：平成28年8月26日（金曜日）

会 場：仙台市民会館 第5会議室

第9回定例スキルアップ講習会が開かれ「地質調査報告書からみる仙台の地質」～地質断面図のつくりかた～と題して弊社技術職員が講演いたしました。



寒天を使った地形モデル作成例（断面図の作成）



016
月2日
曜日

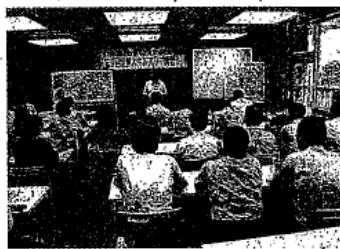
建設新聞

発行所 建設新聞社

本社	仙台市青葉区春日町7-5	TEL022(221)4601(大)
青森支局	青森市古川1丁目21-11	TEL017(722)8631(代)
岩手支局	盛岡市菜園1丁目3-6	TEL019(651)8045(代)
秋田支局	秋田市山王4丁目3-10	TEL018(862)6921(代)
山形支局	山形市松波1丁目10-16	TEL023(641)2800(代)
福島支局	福島市宮下町17-20	TEL024(534)0138(代)
東京支局	東京都江東区墨洲1-3-1	TEL03(5647)1967

(3) 2016年(平成28年)9月2日(金曜日) 日刊(土曜、日曜、祝日休刊)

仙台宅地安全協のスキルアップ講習会



仙台市宅地安全協議会(梅田元雄会長)は8月26日、仙台市民会館で第9回定例スキルアップ講習会を開催し、約50人が参加した。初めに梅田会長が「いつどこで災害が起きてもおかしくない。熊本地震の応急危険度判定の事例を報告してもらおうので、よく理解してほしい」と呼び掛けた。

この後、仙台市都市整備局建築宅地部建築審査課構造監理係

熊本地震の危険度判定事例を報告

の池田篤史係長が「熊本地震における被災建築物応急危険度判定の概要」と題して講演し、仙台市から派遣された判定士6人の活動内容を報告した。

それによると、県全体で5万7570件を調査した結果、安全だったのは2万2833件、要注意が1万9029件、危険は1万5708件に上った。

池田氏は、「余震が続く中、仙台市派遣チームが安全性を考慮し、県外に宿泊先と移動手段を確保したことにより、安全で効率よく判定業務を進めることができた」と説明した。

この後、東北ボリング技術部の菊地真次係長が「地質調査報告書から見る仙台の地質」について講演した。

同協議会は市民の宅地の安全を確認したり、擁壁に関する相談機関として10年前に設立。毎年スキルアップ講習会を実施している。